

1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、美術に対する理解を深め、教育普及に資するとともに展示事業の広報にも役立て、県民の美術への親しみや関心を高める。

(1) 講演会

期日	会場	講演名	講師	内容	参加人数
23.11. 6	講座室	榎戸庄衛の作品に みる原始の姿	阿久津久 (元・茨城県立歴史 館学芸部長)	考古学を専門とする阿久津久氏を講師に迎 え、考古学の観点から榎戸庄衛の作品及び画 業について考察していただいた。	29
茨城県ミュージアム活性化支援事業実行委員会が実施					合計 29

(2) 土曜講座

期日	会場	講演名	担当	内容	参加人数
23. 5.14	講座室	美術館ができるま で	山口和子 (茨城県つくば美術館 首席学芸員)	前身から数えると60年以上の歴史がある 茨城県近代美術館。その現在に至るまでの あゆみや、3000点を超える作品を取得して いくにあたってのエピソードなどを、代表 作を交えながら解説した。	31
23. 7. 9	講座室	美術館のしてきた こと、してこなか ったこと	市川政憲 (茨城県近代美術館長)	美術館とは何でしょうか？ 美術作品を展示 する空間でしょうか？ では「作品」とは、 そして「展示」とは？ 美術館がしてきた ことと、してこなかったことを振り返りな がら、美術館とは何かを問いかけた。	27
23. 9.10	講座室	教えてミッフィ ー！ 親子で楽し める作品鑑賞法	春田友則 (茨城県近代美術館主 任学芸主事)	作品の鑑賞方法、親子で楽しむポイントな どを、昨年茨城県近代美術館で開催した企 画展「美術館に行こう！」の展示例をもと に語った。	15
23.10. 8	講座室	茨城から世界へ 現代美術の発信地	井野野一 (茨城県近代美術館主 任学芸員)	20世紀後半の美術を牽引し、茨城から世界 へと活躍の場を広げた作家たち＝山口勝 弘(1928～)、伊藤公象(1932～)、河口龍 夫(1940～)など、展覧会を通じて関わっ た作家について話した。	21
23.11.12	講座室	榎戸庄衛展連続講 座(1) 榎戸庄衛展を語る 人と芸術、展覧 会の裏舞台など	吉田衣里 (茨城県つくば美術館 副主任学芸員)	展覧会開催に至った経緯と開催までの準 備(調査・資料収集・データ整理など)に ついて触れながら、榎戸庄衛の芸術につ いて語った。	36
23.12.10	講座室	榎戸庄衛展連続講 座(2) 美術と考古 近くて異なる2 つの世界	吉田衣里	考古資料を関連展示する企画展「榎戸庄 衛展」にちなんで、明治時代には近しい 関係にあった、美術と考古の世界につ いて語った。	15
24. 1.14	講座室	『花の都』ではな かった!? 19世紀 のパリ	山口和子 (茨城県つくば美術館 首席学芸員)	憧れの花の都パリ。しかしながら 19 世紀 のパリは・・・!? 鋭い観察眼で時代を捉え たドーミエ(1808-1879)のリトグラフ(茨 城県近代美術館所蔵)を通じて、当時のパ リや人々の暮らしに迫った。	22

期日	会場	講演名	担当	内容	参加人数
24. 2.11	講座室	木村武山の芸術	中田智則 (茨城県天心記念五浦 美術館主任学芸員)	笠間出身の木村武山は、岡倉天心が主導した日本画の近代化の一翼を担い、歴史画、花鳥画、仏画に個性豊かな作品を遺した。研鑽の足跡と作風の変遷を辿りながら、武山芸術の魅力に迫った。	27
24. 3.10	講座室	絵画を知的に楽しく見る 作品の実例から	舟木力英 (元・茨城県つくば美 術館分館長)	絵画作品は自分本位の見方に固執したり、従来の固定的な見方にとらわれたりしたのでは面白くない。いかに知的に楽しく、かつ感覚的にも面白く見られるようになるか、小川芋銭や中村彝など、これまでに調査してきた作品を取り上げ、その方法を探った。	18

合計212

(3) ギャラリートーク

期日	会場	展覧会名	担当	参加人数
23.10.29	展示室	再考 - 茨城の近現代美術 榎戸庄衛展	吉田衣里 (茨城県つくば美術館 副主任学芸員)	12
23.11.20	展示室	再考 - 茨城の近現代美術 榎戸庄衛展	吉田衣里	28

合計 40

(4) イベント(貸しギャラリー利用者による展示室でのギャラリートークなど)

期日	会場	講演名	タイトル	講師	参加人数
23. 4.29, 30	展示室	ヴィジュアル・コミュニケーション展	アートテーブル	展覧会出品作家	27
23. 5. 7	展示室	第9回茨城一陽展	ギャラリートーク	山中宣明(作家), 鳥山豊(作家)	60
23.10. 2	展示室	第30回茗溪学園美術展	講評会	担当教諭, 出品者	83
23.10.18	展示室	テレジン収容所の小さな画家たち展	ギャラリートーク	野村路子(作家)	68
23.12. 3	展示室	第27回MC展平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻洋画・日本画・版画作品展	日本画領域講評会	筑波大学日本画領域担当教員	17
23.12. 4	展示室	第27回MC展平成23年度筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻洋画・日本画・版画作品展	洋画領域講評会	筑波大学洋画領域担当教員	35
24. 2.21	展示室	第11回チャレンジアートフェスティバル in つくば	ミニコンサート	古江かをり(アルパ奏者)	69
24. 2.21	展示室	第11回チャレンジアートフェスティバル in つくば	ミニコンサート	いでさとこ(アコーディオン奏者)	84

合計 443

(5) クロッキーの会

実施日：毎月第1火曜日，会場：講座室

美術への関心を深めることを目的として，当館ボランティアの運営により月に1度，クロッキーの会を実施している。

総参加者数 224人

(6) 絵画の会

実施日：毎月第3火曜日，会場：講座室

美術への関心を深めることを目的として，当館ボランティアの運営により月に1度，絵画の会を実施している。

人物画，静物画などテーマを決めて制作に取り組んでいる。

総参加者数 76人

2 コンピュータグラフィックス（講座室）

お絵かきや塗り絵など，当館オリジナルのソフトが使用できるパソコンを3台設置し，それらのソフトを来館者が自由に利用できる。臨時職員が常駐して指導に当たっており，小学生を中心に幼児から大人まで幅広く利用されている。また，同室内には幼児，小学生用の画集や絵本，図工書を備えた書架を設置している。

総利用者数 848人

3 ビデオライブラリー（講座室）

映像ソフトを視聴する2つのブースを設置しており，来館者は，美術史や技法及び作家紹介のソフト，子ども向けのアニメーションソフトを自由に選択して視聴することができる。

総利用者数 763人

4 博物館実習

概要 博物館法第5条第1項第1号に該当するものを対象とし、当館の活動に携わることを通して、体験的に学芸員の職務の理解に資することを目的に、各大学からの依頼に基づき実施している。

参加大学 筑波大学

参加人数 1人

実習内容

期 日	時 間	実 習 テ ー マ	形 態	場 所
8 / 16 (火)	9:00 ~ 9:30 9:30 ~ 9:50 10:00 ~ 10:50 11:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:20 16:30 ~ 17:00	オリエンテーション 自己紹介・職員紹介 美術館建築の実際(館内視察) 美術館の組織と運営 展覧会のあり方について 文献資料・備品等整理の実際 まとめと反省	視察 講義 講義 実習	講座室 事務室 館内 講座室 講座室 資料室等 講座室
8 / 17 (水)	9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:20 16:30 ~ 17:00	本館(茨城県近代美術館)での実習 作品保存の実際(野外彫刻の洗浄と保存処理) 美術館建築と展覧会の実際、備品等整理の実際 まとめと反省	実習 視察	文化センター前 館内 会議室
8 / 18 (木)	9:00 ~ 10:00 10:10 ~ 11:00 11:10 ~ 12:00 13:00 ~ 14:00 14:10 ~ 15:00 15:10 ~ 16:20 16:30 ~ 17:00	本館(茨城県近代美術館)での実習 館長講話 「美術館教育」における普及活動の概要と意義 美術館における広報活動の実際と意義 映像資料を使った鑑賞教育 学校等教育機関との連携と意義 図書資料等整理の実際 まとめと反省	講義 講義 講義 講義実習 講義 視察実習	会議室 会議室 会議室 講座室 会議室 資料室 会議室
8 / 19 (金)	9:00 ~ 9:50 10:00 ~ 10:50 11:00 ~ 12:00 13:00 ~ 14:10 14:20 ~ 16:20 16:30 ~ 17:00	本館(茨城県近代美術館)での実習 普及活動(アートフォーラム・各種講座等)の実際 美術館ボランティアのあり方と実際 作品整理・管理・保存の実際 作品の収集と保存について 展示解説員のあり方と実際 まとめと反省	講義 講義 視察実習 講義 講義実習	準備室 準備室 収蔵庫 準備室 展示室 準備室
8 / 20 (土)	9:00 ~ 10:20 10:30 ~ 12:00 12:00 ~ 15:30 15:30 ~ 16:30 16:30 ~ 17:00	本館での実習を踏まえたレポート作成 美術館における図書資料の活用(鑑賞ガイドの作成) 鑑賞ガイドの作成(続き) 講評およびまとめと反省 修了証書授与	実習 実習 実習	講座室 講座室 講座室 講座室 講座室

5 ホームページ(<http://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp>)

概要 美術館を利用者の利便を図り、美術館の情報を発信することを目的としてホームページを作成し、展覧会やイベント案内、貸しギャラリー等の利用案内に関する情報発信を行っている。作成は職員が行っており、毎週内容を更新すると共に、必要に応じて情報を発信している。

ページ構成 (平成 24 年 3 月現在)

- 1 トップページ
- 2 展覧会のご案内
イベント情報
美術館からのお知らせ
- 3 企画展
- 4 展示予定
- 5 学芸員だより
- 6 展覧会出品作品の解説
- 7 うれしいニュース
- 8 貸しギャラリー
- 9 土曜講座
- 10 クロッキー・絵画の会
- 11 ボランティア活動
- 12 利用案内・地図
- 13 施設紹介
- 14 関連リンク

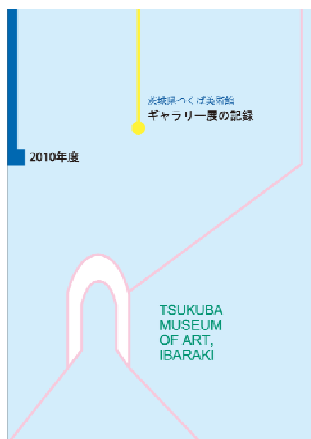
アクセス数 28,253 件

6 メールニュース

美術館の展示内容を紹介するニュースレターを、展覧会ごとに希望者に配信している。ホームページの美術館からのお知らせ欄から申し込みを受け付けている。平成 24 年 3 月現在、81 名に配信している。

7 広報印刷物

- ・ギャラリー展の記録 2010 平成 23 年 8 月
- ・平成 24 年度展示予定表 平成 24 年 3 月



ギャラリー展の記録 2010 年度



平成 24 年度展示予定表